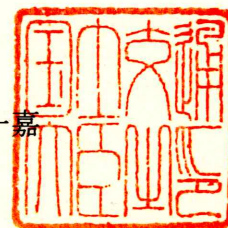


# 認定書

国住指第 701 号  
令和 2 年 9 月 11 日

シーシーアイ株式会社  
代表取締役社長 岡部 鉄也 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1115
2. 認定をした構造方法等の名称  
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ152mm以下)
	面積	0.0182m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の 総合計の割合)		94.2以下
被覆材付配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		2～10.5mm
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0049、 FP060NP-0075、FP060NP-0185-1、FP060NP-0189、FP060NP-0192-1、 FP060NP-0233、FP060NP-0250-1、FP060NP-0258、FP060NP-0294-1、 FP060NP-0345-1、FP060NP-0360-2、FP060NP-0399(1)、 FP060NP-0399(2)、FP060NP-0427-1(1)、FP060NP-0427-1(2)) 厚さ42mm以上 ※補強鋼板の厚さは1.0mm以下とする。

3. 主構成材料の仕様 :

主構成材料の仕様を表 2 に、配管の構成材料を表 3 に示す。

表 2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
被覆材	表面材	材料	無機質混入樹脂シート・ガラス繊維積層材
		使用箇所	直管の外層被覆材
		処理方法	両側の壁際から300mm以上被覆
	表面材	材料	仕様：あり又はなし ポリエステル系樹脂(ポリエチレンテレフタレート等)
		厚さ	非公開
	樹脂シート	材料	無機質混入オレフィン系樹脂
		組成 (質量%)	非公開
		厚さ	
	基材	密度	
		材料	ガラス繊維フェルト
厚さ		非公開	
充てん材	密度		
	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系	
	充てん量	壁と配管との隙間に密に充てんし、開口部から壁側、配管側に5mm以上外盛りする(上張り用面材表面側から充てん)	

表 3 配管の仕様

項目		仕様	
配管	直管	材料	種類：硬質塩化ビニル管(JIS K 6741)(記号：VU)
		外径	φ 114mm以下
		厚さ	3.5mm以下(記号：VU)

4. 副構成材料の仕様 :

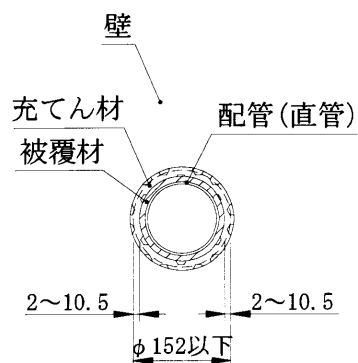
副構成材料の仕様を表 4 に示す。

表 4 副構成材料の仕様

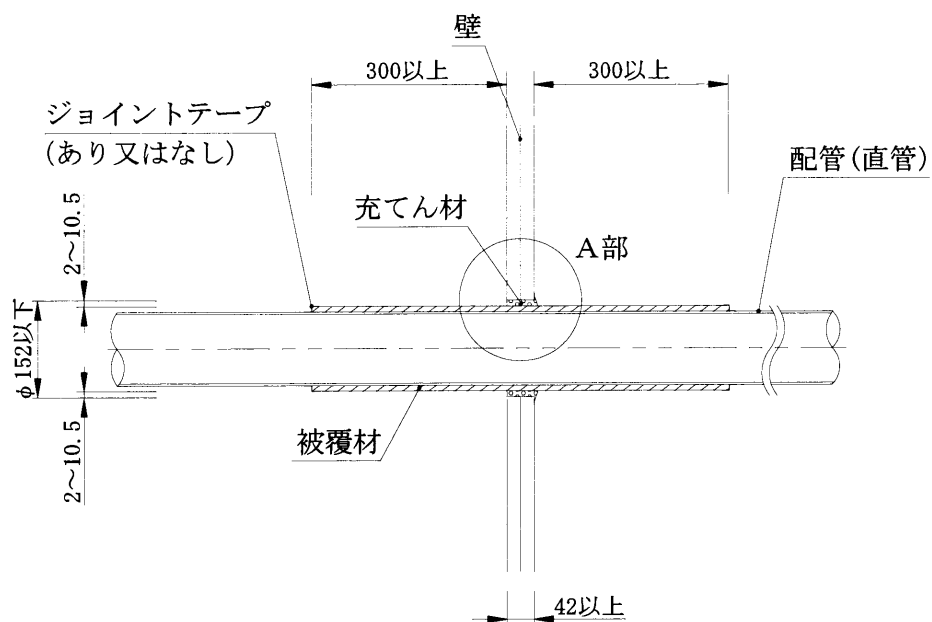
項目		仕様	
ジョイントテープ	材料	仕様：あり又はなし オレフィン樹脂フィルム(ゴム系粘着剤付)	
	組成 (質量%)	非公開	
	寸法		

5. 仕様の構造説明図：  
仕様の構造説明図を図 1～2 に示す。

単位 mm



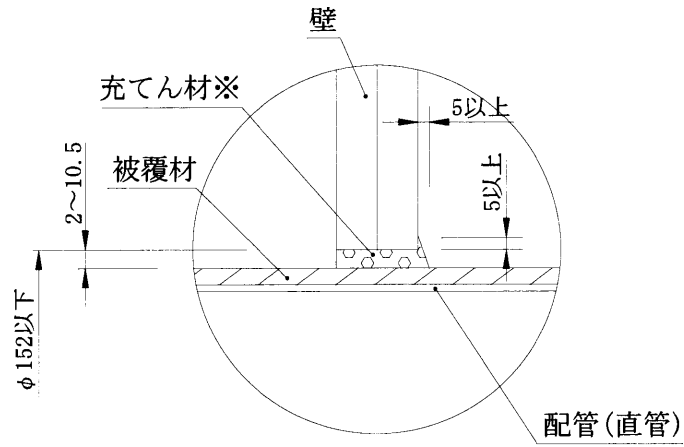
立面図



断面図

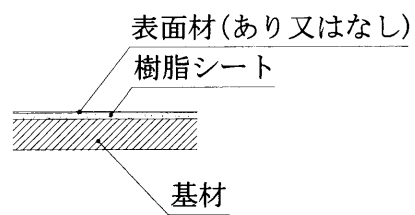
図 1 構造説明図(施工図)

単位 mm



A部詳細図

※充てん材は上張り用面材表面側から充てん及び仕上げを行う



被覆材詳細図

図2 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。  
その際、配管の被覆材長さは、壁の左右面から 300mm 以上であることを確認する。
- (2) 被覆材の端部は必要に応じてジョイントテープで 1 周以上覆う。
- (3) 開口部と被覆材付配管の隙間に充填材を充填する。充填後、開口部から壁側、配管側に 5mm 外盛りし、隙間の無いことを確認する。